

防災功労者

# 大臣表彰に宮坂建設

## 住民参加型訓練など評価

2017年の防災功労

者防災担当大臣表彰に宮坂建設工業(本社・帯広、

宮坂寿文社長)が選ばれた。帯広市内で住民参加型の防災訓練を毎年開催するなど防災思想の普及が評価された。12日午後1時半から東京都内で表彰式が開かれる。

(関連記事4面に)

全国で10個人、51団体が受賞。道内では同社が唯一選ばれた。

毎年、自衛隊や警察など防災関係機関の協力を得て実施している防災訓練のほかに、14年8月の広島土砂災害では炊き出しの支援チームを派遣。15年からは市内で親子防災教室を開いて災害時に役立つ知識や行動を紹介している。

# 宮坂建設工業が大臣表彰

## 今年の防災功労者に

宮坂建設工業(帯広、宮坂寿文社長)が、今年の防災功労者防災担当大臣表彰に選ばれた。毎年行っている防災訓練などの取り組みが評価された。12日に東京で表彰式が行われる。

5日に内閣府が発表した。同表彰は災害時や平時の防災体制などの面で貢献し、功績が顕著であると認められる団体や個人に贈られる。



宮坂寿文社長

宮坂建設工業は1993年の釧路沖地震発生を機に毎年防災訓練を実施。現在は2500人規模の地域住民参加型の防災訓練を開催しているほか、2014年の広島県の土砂災害では現地避難所で炊き出しを行った。実績などが評価を受けた。

今年51団体、10個人が受賞し、道内からは同社が唯一の選出。

同社の高道伸専務は「受賞を励みに今後も社会貢献を実践し、24時間体制で地域住民の安全確保に努めていきたい」と話している。

(中島佑斗)

### 29年度防災功労者大臣表彰

## 宮坂建設工業に栄誉

防災思想の普及・啓発で多大な貢献



宮坂寿文社長

【帯広発】二十九年度防災功労者防災担当大臣表彰の受賞者が五日に発表され、道内からは宮坂建設工業(株)(帯広、宮坂寿文社長)が選出された。防災意識の普及・啓発に関する長年の取組が評価されたもの。表

彰式は、十二日午後一時三十分から東京都内で執り行われる。当日は宮坂社長が出席する予定。

本年度は全国から十個人、五十一団体が受賞。同社は「防災思想の普及」の部門で、道内から唯一選ばれた。内閣府によると、民間企業が受賞すること自体珍しいという。

同社は、地域住民や自衛隊、警察・消防等の防災関係機関等を加えた防災訓練に

取り組んでいるほか、二十六年の広島土砂災害の際には避難所に支援チームを派遣。二十七年からは、親子防災教室を開催している。

こうした長年にわたる防災に関する取組が「地域住民への防災意識の普及・啓発に尽力するなど、防災思想の普及に多大な貢献をした」と高く評価され、受賞の運びとなった。

同社では「今後とも創始者の遺訓である『世の為人の為につくせ』の精神で社会貢献を実施することも、二十四時間体制で地域住民の安全確保に努めていく」と話している。

## 宮坂建設工業が 防災功労者表彰

帯広市の宮坂建設工業(宮坂寿文社長)が、防災功労者として今年の防災担当大臣表彰の受賞者に選ば

れた。地域住民らが参加し、毎年行う防災訓練などの取り組みが認められた。

今年の同表彰は10個人・51団体で道内からは同社のみ。5日に発表した内閣府によると、民間企業の受賞は少ないという。

同社は1993年から社員対象の防災訓練を実施。2003年の十勝沖地震後は、地域全体で防災意識を高めようと住民や関係機関

に参加を呼びかけ、近年は2500人規模の訓練に広がった。ほかに14年の広島土砂災害では炊き出し支援を行い、15年からは親子対象の防災教室も開いている。

同社の高道伸専務は「公共工事に携わる企業として地域への貢献活動を考えてきた。今後も住民の安全確保に努めていきたい」と話している。表彰式は12日に行われる。(東野純也)

## 宮坂社長に表彰状

### 防災担当相

【東京】内閣府は12日、都内の中央合同庁舎8号館で2017年防災功労者防災担当大臣表彰式を行い、防災思想の普及部門で受けた宮坂建設工業（本社帯広市）の宮坂寿文社長に、小此木八郎防災担当大臣から表彰状が贈られた。

防災体制の整備など6部門で全国の10個人・51団体が受け、道内からは同社が唯一表彰された。毎年市民約2500人を集めて大規

模な防災訓練を実施し地域住民の防災意識を高めた他、東日本大震災など全国



表彰状を受ける宮坂社長（右）

の被災地への積極的な派遣支援が評価された。

表彰式には関係者約100人が出席した。小此木大臣は「災害時の避難、救命や地域の復旧復興に常に力を発揮し感謝する。全国で自然災害が多発しており、今後も活動を続け一層の力添えを」と式辞を述べ、宮坂社長ら各部門の被表彰者・団体の代表者に表彰状を手渡した。

宮坂社長は「民間の建設事業者の表彰は初めてと聞き、非常に光栄で励みになる。昨年北海道は台風で大

きな被害を受けたが、今後も関係機関団体の理解と協力を受け、24時間体制で万が一に備え、市民向けの活動も続けたい」と話した。

（原山知寿子）